



寄り添い 伸ばす

荒川区立原中学校

学校だより

4月号

令和7年4月14日

荒川区立原中学校

校長 村松 弘一



顧客満足度の高い学校を目指して！

校長 村松 弘一

春の日差しが暖かい季節となりました。新入生の歓迎を祝うかのように咲いています。新入生90名が入学し、全校生徒数285名で、令和7年度がスタートしました。

昨年度は、開校30周年記念式典も実施し節目の年となりました。年度初めにあたり、「今年度は、30周年以降の新しい原中学校を自分たちの手で作っていかう！」と生徒共々教職員一同、決意を新たにしました。

私は生徒に、「原 中学校は、**原 中楽校**。何事も先生や友達に言われてからやるのではなく、自分自身で考えて、自分自身でベストな行動をとり、お互いが協力して快適な学校を作っていかないと、**楽校**にはならない」と言っています。人が環境を作り、環境が人を作ります。原中学校は生徒が主役の学校です。

本校の開門時間は、8時15分ですが、毎日8時15分前には約30名以上の生徒が、開門を待ちわびています。私が校長として着任してから、朝の教職員打ち合わせをやめて、8時15分に生徒をお出迎えする体制を整えました。担任は教室で、副担任は学年のフロアーや生徒玄関、校門で生徒と挨拶を交わします。校長の私はというと…。運動も兼ねて、生徒廊下や階段のモップ掛け、夏や冬にはエアコンを付け、学習環境を快適な環境にして生徒を待ち受けます。校長が朝から掃除をしている学校は少ないでしょうが…。「顧客満足度の高い学校づくり」の学校経営理念は、以前お伝えした、識見高さ校長から学んだものです。

目指す学校像

生徒も保護者も、「通ってよかった」、「通わせてよかった」と実感できる学校

目指す学校経営を実現するために、

学校におけるCS(Customer Satisfaction) 推進を考えた学校経営を行っていきます。

「**CS**」は、「**顧客満足**」です。つまり、「お客様が満足すること」です。

学校で、「お客様」は少しじっくりこないです。原中学校における教育は、公教育であり、広い意味では、行政サービスの一部であるので、生徒・保護者・地域の方々はもとより、荒川区民、ひいては東京都民ということになります。顧客となる全ての皆様に御満足いただけるような教育活動を行って参ります。**CS 向上のために、**

- ① 生徒・保護者・区都民(顧客)の立場に立った教育活動、サービスの提供、企画・開発。
荒川区の教育施策の推進、荒川区教育委員会研究指定校での研究推進。
- ② 顧客とコミュニケーション、保護者・地域等と連携を図り、
⇒ ③ 課題を出し、解決策を検討。
- ④ 再度、期待以上の教育活動を提供していく。 ということを継続していきます。

校長としての 判断基準

- 生徒にとって、教育効果はあるのか
- 生徒にとって、メリットはあるのか
- 「費用対効果」はあるか

ご指導ありがとうございました・お世話になりました

(省略いたします。)



ようこそ 原中学校へ・よろしくお願いします

(省略いたします。)



4月中旬から5月中旬までの行事予定

日	曜	行 事	時程
4/15	火	各種委員会 個人写真撮影	B6
16	水	荒教研	B4
17	木	全国学力・学習状況調査(国・数)(3年) 中央委員会	
18	金	避難訓練 内科検診(3年)	
19	土	オープンスクール(給食あり) 保護者会 14:30~16:00	A4
20	日		
21	月	全校朝礼 内科検診(2年) 腎臓検診1次	
22	火	内科検診(1年)	
23	水	幼保小中交流会 寺子屋	A5
24	木	視力・聴力測定 寺子屋	
25	金	離任式	
26	土		
27	日		
28	月	全校朝礼 心臓検診(1年)	
29	火	昭和の日	
30	水	寺子屋 職員会議・校内研修会	B5

日	曜	行 事	時程
5/1	木	寺子屋	
2	金	生徒総会 寺子屋	
3	土	憲法記念日	
4	日	みどりの日	
5	月	こどもの日	
6	火	振替休日	
7	水	校内研修会 寺子屋	A5
8	木	寺子屋	
9	金	中間考査①自習②理③社④英⑤数⑥国 腎臓検診2次	
10	土		
11	日		
12	月	全校朝礼 耳鼻科検診(1・3年)	
13	火	各種委員会 運動会係会 耳鼻科検診(2年)	B6
14	水	荒教研	B4
15	木	中央委員会 春季歯科検診 寺子屋	
16	金		

◎ホームページに、学校だよりを掲載しています。ぜひご覧ください。